

緑丘さっぽろ



Index

- 01 巻頭エッセイ
- 02 他支部だより
- 03 ようこそ札幌支部へ
- 04 特集【OBS20周年】
- 06 札幌支部紹介・活動報告
- 08 キャンパス情報
商大サークル【緑輝星】について
- 09 緑丘ランナーズより
- 10 わたしの1枚
- 11 物故・編集後記 他
- 12 令和5年札幌支部
年次大会のご案内

■ 編集 ■

緑丘会札幌支部 総務広報部会
〒060-0005
札幌市中央区北5条西5丁目7
SAPPORO55ビル3階
小樽商科大学札幌サテライト内

■ 印刷 ■

岩橋印刷株式会社

緑丘会札幌支部 ホームページ
<http://www.ryokukai.com/>



巻頭リレーエッセイ

石鹸が繋ぐ文系と理系

先日、沼田ゼミに所属していた縁で榎本石鹸のシンポジウムに出席しました。商大と榎本武揚との関係並びにそれに関連した石鹸製造の内容であり、商大のこれからの活動の一つである文理融合の具体的な指針を示す発表でした。

商大には元から小樽高商時代の石鹸作りの系譜で化学や生物のゼミが存在しており、また理系大学との経営統合によってこれから文理融合が進んでいくことかと思われます。私が沼田ゼミの扉を叩いたのは文系大学にある理系ゼミという特異性に惹かれたからなので大学のこれからの動向にはとても興味が湧いています。

石鹸が水と油とを合わせるように、文系学問と理系学問とを合わせて新たな発展を産み出していく商大をこれからも応援していきたいです。



野並 義章

令和2年9月卒

空白の2年間を埋めて

緑丘会東京支部長

中村弘治

(昭和52年卒)

札幌支部の皆さま、初めまして。昨年6月より東京支部長を務めております中村弘治です。支部長就任を決議頂いた支部総会後の初仕事が母校緑丘祭への参加で、札幌・小樽両支部合同の緑丘会紹介ブースの見学と両支部役員の方々とのご挨拶が主目的でした。その際に「緑丘さっぽろ誌」を拝見し、カラー刷りで立派な会報を継続発行されている編集委員会のご労苦に感嘆し、今回の東京支部活動についての寄稿ご依頼に対して、少しでもお役に立てれば幸いです。

私の緑丘活動への参画は野球部OB会(首都圏)活動だけで、東京支部役員の経験もなく、令和4年度の活動方針は前支部長をはじめ支部役員が策定されたルールの上を後ろから追っかけていくものでした。ただ、新型コロナウイルスの影響でこの2年間の主たるイベントはほぼ中止しており、世間では新型コロナウイルス感染者数増加が報じられている中、支部長がイベント可否の最終判断を行うことの責任の重さを感じておりました。

最初のイベントが7月9日(土)に予定されていたホームカミングパーティーでした。これはその年に卒業して新社会人となった新OBを無料で招待して、緑丘会を知ってもらおうという企画で、首都圏配属のみならず首都圏で新入社員研修を行う新OBを対象としていましたが、コロナ禍により令和2年以降中止となっていました。支部役員とのミーティングでも未実施の対象年次の扱いについて議論となり、せっかくの参加機会を延期していたので拡大してはとの意見が多数を占め、無料参加者を令和2年～4年の卒業生を対象として募集を行うこととしました。これまでのイベント参加募集は、支部として把握しているメールアドレスに加え、令和卒業者間のLINE網を活用して行ったことで、

対象者29名を含む42名の参加で開催しました。コロナ禍のため各自の飲食は弁当形式として、開会の支部長挨拶でも感染防止のための①ワクチン接種、②マスク着用による飛沫感染予防、を強調した味気ない内容でした。着席による懇談でしたが、各所で活発な交流が行われ、対象者の多数は平成卒の支部役員との二次会に繰り出し、感染拡大も無く、今後のイベントの中でもジンギスカンパーティーへの関心が高いことを知り、12月10日(土)のジンギスカンパーティーにつなげることが出来ました。イベントは参加対象となる層のニーズの把握がカギであることを学びました。

支部活動最大の動員を図る新年会の準備は、直前で中止を決断した3年前の計画書に沿って進めましたが、会場都合で札幌支部新年会当日しか抑えることが出来ませんでした。会場変更や実施月をずらすことも検討しましたが、集客数よりも本年度に開催することを優先させて募集し、当日は108名の参加を得て無事に開催することが出来ました。久しぶりの開催を喜ぶご意見を多く頂き、事務局としての満足を感じることが出来ました。withコロナの影響で料理が大皿から個食提供となったことで割高となり、しばらくはこの傾向が続くため内容の吟味が必要です。それ以上に、今回の開催日重複を起こさないよう早めの日程調整を行っていきたくと反省しています。

この1年間は過去の実績に基づき活動してきましたが、支部会員数の減少に歯止めをかける為にも、支部役員に幅広い年代層に加わってもらい潜在化したニーズの掘り起こしに努めていきたいと考えております。今後も各支部との連携を強化して緑丘会活動を盛り上げていきたいと思います。



ホームカミングパーティー



新年会

飛び回る日々です…

株式会社船井総研デジタル
IT コーディネーター

栗 城 和 也

(平成 16 年 3 月卒)



みなさま、はじめまして。

私は、約19年前の4月に函館高専情報工学科から小樽商大の社会情報学科に3年次編入をしました。今では特殊ではないかもしれませんが、当時は高専から文系の大学に編入すること自体がまれで、入学手続きにおいても、編入時に認定できる単位が少ないから卒業まで3年かかるかもしれないとのお話もいただきましたが、なんとか規定通り2年で卒業することができました。その後は経営系の大学院に2年間おり、修了後に社会人となりました。

前職の大手移動体通信会社では、採用面接時に「学歴と専攻がバラバラで何をやっているのか理解に苦しむ」と言われながらも何とか採用され、最初の配属先は釧路支店（実は今この原稿を書いているのも釧路への機内です）でショップや量販店における販促支援業務を経験した後、それから本年1月に退職するまでは、札幌/東京/仙台などにて法人営業一筋で業務しておりました。約15年の間にIT技術だけではなく通信技術も大きく進歩し、それに伴いお客様や自身の働き方も大きく変わったと思います。中堅・中小企業のお客様の課題を伺いそれに対するモバイル通信を活用した解決策の提案や導入は大変にやりがいを感じました。さらに、仙台勤務では自治体様と一緒に社会課題を解決するための事業の創出を0ベースから一緒に進めていくことや、総務省の5G総合実証のような国家プロジェクトにも関わる貴重な経験をしてきました。

自分の今後のキャリアパスとして、自治体の抱える社会課題に対して現場を見て一緒に考え、解決策を創り、実際に試して改善しながら実装させるような今で言う「自治体DX」をやりたいと思うようになった矢先に、突然企業として単身赴任制度の廃止に伴う札幌への人事異動があり、異動先ではその実現が困難な状況であったため、思い切って40代の転職に挑戦し、無事に船井総研デジタルに入社しました。

現職は昨年の7月にグループ会社2社の統合により生まれた新しい企業で、船井総研という歴史のある企業におりながらやっていることはベンチャー的要素が強いところがあります。

今は、自治体DX業務ができるよう自治体の事業へ積極的に応募し、まずは自社の存在を知っていただくことから始めております。そのため、今月（2023年5月）だけで10事業以上に応募し日々飛び回る生活を行っております。

本来であれば札幌を拠点に活動をしたかったのですが、残念な話ではありますが自治体に限らず企業におけるDXに関する温度感が個人的にはまだ低く、仙台などの東北の方がDXを進めなければ自治体運営や企業経営に影響が出る危機感を持たれておりご相談も多く頂戴しております。

今は札幌から毎週東北へ出張し、自治体や企業でのDX推進事例を多く持ち帰り、それを北海道に展開するのが私のミッションだと考えております。

もし、この記事をお読みになっていただいている方で、ご関心がありましたら是非お声がけいただけますと嬉しいです。

今後も緑丘会札幌支部の活動のお手伝いを微力ながらさせていただきながら、頑張っていきたいと思っております。

今後どうぞよろしくお願いいたします。



OBS20周年とMBA会の再始動!!

緑丘会MBA会事務局

河崎 智之 ・ 須川 正啓
(MBA平成24年修了) (MBA平成26年修了)

小樽商科大学ビジネススクール(通称OBS)は、北海道経済の活性化に資するアントレプレナーの育成を目的として、緑丘会の支援を得て平成16年に設立し、この4月に20期生を迎えました。OBSはこれまで、594名の修了生を輩出し、修了生はOBSのネットワークを生かして、道内、全国、そして世界で活躍しております。緑丘会札幌支部の皆様をはじめ、20年に渡り様々なご支援をいただきましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、本日は、OBS20周年のご報告を兼ねて、MBA会会長の井馬 智行さんと副会長の三上 淳さんにOBS及びMBA会の現状や今後の展望についてインタビューをお送りいたします。



MBA交流会で会長挨拶をする井馬さん
(MBA平成30年修了、北海道コカ・コーラボトリング(株) 執行役員)

Q.OBSでの学びを振り返っていただけますか?

(井馬) 私は13期で5年前(2018年)に修了しました。

OBSには、教員、同期の仲間、上下の期の先輩・後輩など、様々な出会いがあります。当時から一貫して思っているのは、「たしゃ」からの学びの大きさです。他の人の「他者」、他の会社の「他社」のそれぞれから、多くのことを学びました。

また、理論と実践の間を行き来できることも重要でした。OBSで学んだことを実際の仕事でやってみて、うまくいったこと、うまくいかな

かったことを再び学びの場でぶつけてみる。その繰り返し学びの大きさに関わるのではないかと考えています。

(三上) はい、私は14期で2019年に修了しました。OBSでは実学の学びが深められたという点が記憶に残っています。

特にビジネスプランニングというOBSの看板授業がありまして、実際のビジネスを考えて、構想コンセプトの企画から資金繰りまで全体的に学んでいけるプログラムなのですが、マネジメント、経営、マーケティング、財務などあらゆる面から一つのビジネスについて体系的に学べて、さらに実践のイメージまで学べるところは、非常に自分にとって貴重だったと思います。

また、自分の考えだけでなく、その同期の仲間たちのアイデアと同じテーマについて考えるわけですから、すごくその違いから学びを深めることもできました。また、先生が非常に親身に関わって本気に関わってくださっていたので、その辺も非常に深い学びにつながったと思います。

Q.MBA会の活動を教えてください!!

(井馬) 現在の体制になる前から、三上さんとともに、期の代表として役員会に参加させていただいていました。前会長から会長職を引き継いでほしいと言われたのが2019年、2020年から新体制でスタートする予定でしたが、コロナによって活動休止となり、2年間、新体制への移行を見送りました。そして、今の体制になったのは2022年6月です。副会長の三上さんと一緒に心機一転、新たな役員体制でスタートしたわけです。

そして、昨年度は、満を持して11月に3年ぶり



MBA交流会で司会をする三上さん
(MBA平成31年修了、かもめソリューションズ代表)

に対面で交流会を開催しました。今までの交流会は、ホテルで少し格式ある形で実施していたのですが、少しスタンスを変えて、ビジネスアイデアを皆で考えるなど、参加型の交流会を企画しました。

(三上) コロナ禍はつながり方を再検討する良い機会でもありました。MBA会も単なる同窓会をではなく「学びを実社会でどう生かしているか」をめぐって修了生がつながる場にしたい、と結構悩みました。

先程の交流会も参加型のイベントにしました。実際に集まれるのであれば、一方通行ではなく双方向でコミュニケーションができるような場を作りたいという思いからでした。

一方で、コロナによってデジタルが非常に重要視されるようになってきたわけですが、その点も、MBA会の運営で意識しています。修了生同士のつながりからビジネスが生まれるように、デジタルツールでバックボーンを確認できたり気軽に情報交換ができるような仕組みを、現在構築しているところです。

Q.いよいよ今年はOBS20周年となりますが、どのような取り組みを予定されるのですか？

(井馬) 大学(OBS)から、OBS20周年事業として、OBS関係者による「キックオフシンポジウム」と記念誌の製作を予定していると聞いています。まずは、この記念事業をOBSとMBA会が共同実施していきます。この20年という節目の年に、大学と一緒に記念事業を盛り上げていくことが特徴的かなと思います。

(三上) そうですね、修了生は仕事をしている人が殆ど

なので、どうしても疎遠になってしまいがちというのが実状なのかなと思っています。大学側が人が集まりたくなるような場を作ってくれることは非常に感謝したいところではあります。MBA会としても、ここでもう一度修了生の繋がりが生まれ、新しいビジネスが生まれるようなきっかけを作っていければいいなと期待をしています。

また、デジタルが果たす役割が大きくなっている昨今ですから、新しいネットワーク創出の機会を作っていけたらと思っています。

Q.今後に向けて、一言お願いします。

(井馬) 先の話になりますが、次の30周年は2033年ですね。現在の修了生数のペースでいくと、30周年の時には1000近い修了生数となります。一つの大台を迎えるということで、北海道経済における存在感がより大きくなるよう、このネットワークを大切に育てていきたいと思っています。

(三上) OBS修了生の活躍や、在学時代の楽しい学びに関する情報発信は、噂・口コミとなり、OBSに関心を持っていただく人を増やしていくという好循環を生み出しています。実際に修了生たちの情報発信や紹介から新しい入学希望者を生んでいるという実感もあります。この20年で培ってきたネットワークというものは、一つ社会に大きなインパクトを与えられるんじゃないかなと思っています。是非、この流れ大事にしながら、まずは、この20周年のイベントを成功裏に収められるよう、取り組んでいきたいと思っています。

以上でインタビューの方を終了したいと思います。
ありがとうございました。



学位記授与式で恒例となったOBS修了生による帽子投げ

■令和5年 緑丘会札幌支部新年交礼会■

2023 年
2月11日
(土)



3年ぶりの開催となった新年交礼会。
100名あまりのご参加をいただき、
開催させていただきました。



札幌支部支部長・平塚 彰



国立大学法人 北海道国立大学機構
長谷山彰理事長にご臨席いただき、
「北海道国立大学機構の発足に寄せて」
としてお話いただきました。

小樽商科大学 穴沢学長をはじめ
多数のご来賓の方々にご臨席を
いただきました。



ご参加いただいたみなさんからも、活動報告や告知などスピーチをいただきました。
現役商大生のサークル案内、応援団による口上、最後は全員で校歌と若人逍遙の歌を斉唱しました。



MBA 会



プレクトラムアンサンブル
OBOG 会



グリークラブ OB 会



緑丘会学生広報部
緑輝星



西線寄席



商大応援団



うたごえ便よりみち よっちゃんのミニライブ

町内会・マンションや団地の集会、高齢者施設などで、
開催回数 2,700 回以上、参加者数はのべ 90,000 名を
超える大人気のうたごえ喫茶を開催するよっちゃんこと
石澤佳子さん（平成 7 年卒）によるアコーディオン演奏
で楽しいひとときとなりました。

演奏曲：ピア樽ポルカ・パリの空の下・小樽のひとよ・情熱大陸

参加者のスピーチや
よっちゃんのミニライブ
応援団の登壇の様子は
動画でご紹介しています
札幌支部ホームページで
ご覧ください



2022 年
12 月 17 日
(土)

■オンラインセミナー vol.6

商大生の今を聞く

「VUCA 時代の働き方と企業、
個人に求められる対応」

講師：島 幹人氏

平成 25 年卒 佐野ゼミ

YOSAKOI ソーランサークル翔楽舞

現職：みらいコンサルティンググループ
コンサルタント（社会保険労務士）



働き方改革やコロナ禍による勤務形態の変容、
多様化などに対し、企業も個人も柔軟な対応
を求められる中、人的資本の形成をどのよう
に考えていくべきか、といったお話をしてい
ただきました。

セミナーの様子は
動画でご紹介しています
札幌支部ホームページで
ご覧ください



Information

オンラインセミナー vol. 7

2023 年 7 月 8 日 (土)

14:00~

講師：前井純一氏

札幌支部 HP などでご案内いたします

2023 年
2 月 25 日
(土)

■第 6 回 商大演芸の会

大先輩の驚きのマジックやおなじみの漫談、ジャズ研究会 OBOG による
セッション、落語など今回も楽しい演芸の会となりました。



出演

★司会：住出尊史（平成 5 年卒）・八十島忍（平成 5 年卒）

★手品：下斗米寛泰（昭和 45 年卒）

★漫談：茶会家樂志（酒井秀和 平成 9 年卒）

★演奏：ジャズ研究会 OBOG 住出尊史（平成 5 年卒）

茶会家樂志（酒井秀和 平成 9 年卒）

瀬尾陽子（平成 12 年卒）

★落語：日之出家金助（金山敏憲 平成 6 年卒）

★四股披露：八十島忍（平成 5 年卒）



演芸の会の様子は
動画でご紹介しています
札幌支部ホームページで
ご覧ください

Information

第 7 回商大演芸の会

2023 年 7 月 23 日 (日) 14:00~

会場：ぴあのぴあの（中央区南 9 条西 16 丁目）

札幌支部 HP などでご案内いたします

世代を超えた繋がりを育むサークル「緑輝星」

皆様、はじめまして。小樽商科大学夜間主コース 社会情報学科3年 青木麻耶と申します。

この度、「緑丘会会員の皆様と現役学生の繋がりを強める」ことを活動目標に掲げるサークルを結成いたしました。サークル名は「緑輝星（りょくきせい）」です。緑丘会のシンボルカラー「緑」と小樽商科大学のシンボルマーク「星」を掛け合わせました。全国規模のネットワークを持つ緑丘会との繋がりを活用することで、他のサークルや部活が挑戦しないこと・できないことにもトライするパワフルなサークルにしたい、そしてその一つ一つの経験が学生にとってキラキラと輝くものになってほしい、と願いを込めました。

今年の1月にサークルを立ち上げたばかりの頃は、メンバーが数名しかおらず、何をどうしたら良いのか迷うことばかりでした。しかし、顧問である江頭進副学長や小樽商科大学の事務職員である高山慎太郎様のアドバイザーとしてのお力添え、そして緑丘会の皆様からの力強いご支援をいただき、少しずつサークルとしての形が見えてきました。たくさんの方に支えられて参加した4月の新入生歓迎会では、多くの1年生が「緑輝星」の活動に興味持ってくれました。現在のメンバーは14名ですが、より多くの学生が参加してくださるよう、これからも努力したいと思います。

サークルの活動目的は、先ほど記した通り、「緑丘会の皆様と現役学生の交流活性化」です。私たちの充実した学生生活は、緑丘会の皆様からのご支援の下で成り立っています。しかし、学生の中には、そういったご支援と「緑丘会」が結びつかない人、または大きな支援を受けていること自体を知らない人もいます。また、在学中だけでなく卒業後も様々な活動に参加できるということを知らないまま卒業してしまう人も多いようです。「もし、いろいろな分野で活躍されている緑丘会の皆様と学生が気軽に交流できる場があれば、この状況を改善できるかもしれない。そしてそこから生まれる繋がりは、学生にとって、自分の将来について考え

小樽商科大学同窓会組織「緑丘会」学生広報部

緑輝星 代表

青木 麻耶

るチャンスになるはずだ」と考えました。そのため緑輝星では、緑丘会の皆様と交流することができる様々なイベント、例えば「秋のホームカミングパーティ」や「業界研究セミナー」等を企画し、世代を超えたネットワークを作り上げていきたいと考えています。

今後の活動のメインイベントとして、6月24日・25日に開催される「緑丘祭」への飲食ブース出店を企画しております。緑丘会の皆様が母校・商大を訪れるきっかけになるよう、メンバーが一丸となって取り組みます。詳細情報につきましては「緑輝星」Twitterアカウント (@Otaru_Ryokkisei) にてお知らせいたしますので、フォローいただけると幸いです。

サークル活動を通じて、緑丘会の皆様とより深い繋がりを育みたいと考えております。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



今年の新年交礼会でご挨拶させていただきました

第71回緑丘祭「青樽-aotaru-」

6月24日(土)・25日(日)

10:30~18:00

JR小樽駅前から無料シャトルバスが運行します

旅、酒、桜、そして仲間と。

緑丘 RUNNERS

三宅英彦

(平成6年卒)

年明けから半年は仕事で出張に行くことが多くなりました。ただ地方巡業には楽しみも多く、また、忙しい時こそ楽しもうというアドレナリンが全身を巡るもの。さて、今年とはいうと、東京、新潟、千葉、大阪、鹿児島、秋田など様々な地域に仕事やプライベートで出かけておりました。東京では、桜満開に間に合わなかったのですが、皇居や東京タワーを背景に桜を愛で、東京の友人と銀座で福井のお酒（銀座に素敵な福井県出身の方が経営する酒房がありまして）を楽しみ、千葉のペンションで夕陽を見ながらバーベキュー。ところで、去年の秋にいわて盛岡マラソンでお会いした商大OGの熊谷先輩は、銀座の飲み仲間と同じ中学校（高校だったかな？）だということがわかり驚きました。人脈形成とは化学反応に近いものがあるのかも。

もちろん、RUNNERSとして芝公園ランや、鹿児島桜島ランなども敢行しました。はい、重くなった体を引きずりまして。鹿児島では桜はとっくに終わっていましたが、川辺にはサボテンが生えてました。鹿児島で酒と言えば、焼酎。お勧めに任せて、桜島灰干しをあてにすれば、お酒も進むというもの。ちょうど誕生日だったので、後輩にご馳走になりました。実は2年連続（笑）。

最近の大会始めは伊達ハーフ。昨年は16キロで回収されてしまいましたが、今年は何とか完走出来まして、ほっと一息です。年の後半には、富山、いわて盛岡、那覇などのフルマラソンを走る計画（既にエントリーしている大会もあり）をしております。それに向けてゆっくりマイペースで調整です。

今年は北海道も桜が早かったですね。ゴールデンウィークのRUNNERS花見ランは、「街並みに桜散るラン」という感じでしたが、円山公園はまだまだ桜が満開で、色とりどりの桜を堪能できました。

旅、酒、桜、そして仲間と一緒に過ごす時間は良いですね。諸先輩後輩の皆様とも是非どこかでご一緒させて下さい。ではまた！



昭和57年卒業（昭和53年入学） 40周年同期会のお知らせ

新型コロナ禍で1年遅れとなりましたが、下記のように入学同期会・卒業40周年記念大会を開催いたします。

日時：2023年9月17日（日）15:30～18:00

場所：大和屋本店
（小樽市稲穂3丁目4-11 0134-23-1540）

会費：6,000円程度

二次会：マルジェ尚（会費3,000円）

みてみて

わたしの 1 枚

子供の頃にブロック遊びを経験した人は多いことでしょう。私は、「レゴ」と「ダイヤブロック」が繋がらないことに腹を立てた記憶があります。

そのダイヤブロックのメーカーが、大人向けに「ナノブロック」という商品を出しています。

コロナ禍で在宅時間が多かった 2020～21 年に、ネットでパーツ取り寄せて模型をいくつか作りました。

写真は、小樽商科大学 600 番棟の模型です。600 番棟は、校門から入ってすぐ左手、学生会館（現大学会館）と管理棟（現学生センター）の間に建っていた小樽高商時代からの木造校舎です。



小樽商科大学600番棟の模型

札幌サテライトに飾っています

私が所属していたプレクトラムアンサンブルの部室（楽器置き場？）は 600 番棟の 1 階奥右側にあり、管理棟で掲示を確認し、600 番棟の部室に寄って 2 階廊下から一旦外に出て、図書館を経由して講義棟（現 3 号館）に向かうのが 3 年目までの朝の日課でした。

4 年目になった 1984（昭和 59）年の春に体育館側にサークル会館が出来、600 番棟は解体されましたが、学生時代の思い出深い建物です。

当時は写真を撮る機会が減多になく、このナノブロック模型は商大百年の写真集「北に一星あり」の写真数枚と自分の記憶で組み立てたため不正確な部分もあるかもしれませんが、商大札幌サテライト内の棚に現物を飾っていただきましたので、お立ち寄りの機会にご覧いただければ幸いです。

昭和 60 年卒 岡島 敬 札幌西高校出身

2023 年

7月16日

小樽市民センター
マリンホール

小樽商科大学プレクトラムアンサンブル

創部 55 周年記念演奏会 マンドリン&ギターコンサート

入場整理券（無料）
札幌支部事務局で
お渡ししています

小樽商科大学プレクトラムアンサンブルは、本年で創部 55 周年を迎えます。来る 7 月 16 日（日）に小樽市民センターマリンホール（色内 2 丁目）で記念演奏会を開催いたします。

お問い合わせはこちらから→





緑丘戦没者慰霊祭にご参列を

2023年8月15日(火) 11:59から
緑丘戦没者記念塔(大学構内奥)にて

大学研究棟前、石狩湾を望む高台に戦没者記念塔があることをご存知でしょうか。戦火に散った学生・教職員の御霊を慰めるべく、昭和44年に当時の松尾正路教授が卒業生有志に呼びかけ建立されました。塔内部には戦没者347名の銘が刻まれ、松尾教授による碑文があります。

戦の野に果つるとも 若き命この丘にとどまりて
消ゆることなし 友よ安らかに眠れ

毎年終戦記念日にご遺族をはじめ、緑丘会関係者、教職員、学生らが列席して慰霊祭が行われます。今日の平和が多くの犠牲の上に成り立っていることを語り継ぐため、皆様のご参列をお願いいたします。

亡くなられた会員の皆様

(2022年11月～2023年5月受付)

卒業年	氏名	ご逝去日
昭和30年	山田 孝	2022年11月12日
昭和30年	富田 礼二	2022年
昭和32年	山口 雅志	2022年5月1日
昭和34年	安齋 雅弘	2022年11月11日
昭和35年	林 正宏	2023年2月9日
昭和37年	田中 稔	2020年11月2日
昭和41年	太田 堯	2023年3月25日
昭和46年	秦 豊	2023年3月5日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

編集後記

昭和62年に商大に入学し、卒業まで6年を要したのに、この歳になり、商大生と一緒に勉強したいと思い立ち、この春、科目等履修生としての商大への入学を決意しました。結果、履修を許可され、週に1回ですが商大へ通っております。

入学動機はもう1つあり、自分が現役時に創設し、数年後に消え去った相撲研究会をもう1度大きく飛躍させたいと思い立ったのもあります。去年、柔道部と兼部しながら相撲を始めた泉澤君が4年目を迎えるにあたり、彼が卒業するまでの間、近くで支援したいと思い、監督の立場も名乗ることにしました。

今年4月には、学生自治会主催のサークルオリエンテーションへも自ら参加し勧誘したところ、幸い彼に続く新入部員が3名(京都出身の4年生と網走出身の新入生に加えゴルフ部の4年生)が加わり、5月28日に名古屋で開催される第39回全国国公立大学対抗相撲大会へ念願の団体戦での出場が叶いました。北海道新聞やどさんこワイドで相撲研究会について報道され、皆の活動にも力が入っています。

今は、私も北大相撲部の胸を借り、現役とともに練習で汗を流しながら、活動を見守っていますが、新入生が1人だけで、来年は、また、部員確保が必要なことから、皆様方のお知り合いに相撲に少しでも関心のある3年生以下の商大生がいましたら、兼部や大会だけの参加でも結構ですので、次年度以降のサークル継続と全国大会の土俵へ向け、一緒に活動してくれたらうれしいです。

札幌支部副支部長 八十島 忍
(平成5年卒)

緑丘会札幌支部
電話/FAX: 011-231-6900
ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>
メール: ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp
月・火・木・金 11:00～15:00
水・土・日・祝は閉室

緑丘会札幌支部は、会員の皆様の会費によって運営されています。

札幌支部では、年会費として3,000円を申し受けております。3年分、5年分とまとめ払いによるお得な割引制度もございます。
2022年1月より、ゆうちょ銀行で現金でお支払いの際に手数料が加算されることになりました。よろしければこの機会に口座振替をご検討ください。全国の金融機関をご利用いただくことができます。手続きは書類に記入し、支部に返送するだけで完了します。毎年7月に引落しされ、手数料はかかりません。
お申込み、お問合せは支部事務局へご連絡ください。ご協力よろしくお願い申し上げます。

令和5年 緑丘会札幌支部 年次大会のご案内

2023年 7月22日(土)

ホテルポールスター札幌

札幌市中央区北4条西6丁目

電話 011-241-9111

会費：7,000円

釣銭が出ないようご協力ください

2023年卒業の方は無料ご招待いたします

開場 12:00

12:30 ~ 総会

13:00 ~ 講演

13:30 ~ 懇親会※

閉会 16:00 予定

※ご飲食はコース料理(個別盛)を予定しています。

スピーチタイムで活動紹介や告知ができます
学生、OBOG、個人・団体問いませんので
希望の方は札幌支部事務局までご連絡ください

講演

北海道からスタートアップを創出する
大学・高専ネットワーク『HSFC』と
小樽商科大学のミッション



講師 藤江 稔 氏

小樽商科大学
グローバル戦略推進センター
産学官連携推進部門 准教授

1981年石川県金沢市生まれ。
北海道大学大学院工学研究科修士課程修了後、北海道経済産業局に入局。
バイオ産業課、製造・情報産業課、経済産業省大学連携推進課など、
産学官連携やイノベーション関係の部署を経て、2021年より現職。
北海道内の大学・高専からスタートアップを生み出すプロジェクトに携わっている。



ご来場の際の
お願い

- ・マスク着用に関しては各自の判断におまかせいたします
- ・2日前～当日の欠席については、会費を申し受けます
- ・会券はありません。来場時に卒年・氏名をお知らせください

お申し込み締切：2023年7月9日(日)

事前申込の無い当日会場受付はいたしませんので必ず期日までに
申込専用WEBページまたはFAX・郵送でお申し込みください

キリトリ線 ✂

▼令和5年年次大会 参加申込

お名前		
卒業年	大学／短大／大学院／MBA 昭和・平成・令和	年卒
メール		
電話番号		
ご住所	〒	
出身高校		
ゼミ・部・サークル		
ご勤務先		

申込専用WEBページ

<https://www.ryokuyukai.com/2023form>



FAX 011-231-6900

郵送 〒060-0005

札幌市中央区北5条西5丁目7
sapporo55ビル3階
小樽商科大学札幌サテライト内
緑丘会札幌支部 宛

※恐れ入りますが通信費・郵送費はご負担ください